

国際大学

事業名	多文化ふれあいコミュニティ事業 インターナショナルフェスティバル2015						
実施期間	2015年5月23日(土)午後2時～6時						
場 所	国際大学 体育館 及び 野外特設会場						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	300	50	40	30	30	2000	2,450 名

<実施内容>

「多文化ふれあいコミュニティ事業」として「インターナショナルフェスティバル2015」を開催した。

「インターナショナル・フェスティバル」は毎年学生主導で開催している国際大学の一大イベントである。今年は晴天に恵まれ、2,000名の来場者があった。留学生、日本人学生、および地域の方々が、それぞれの国・地域の伝統芸能や料理等を披露した。学生、来場者の双方にとって、異文化を体感する機会となり、楽しい交流の場となった。



現在国際大学には、アフリカ大陸の8か国から、22名の留学生が在籍している。彼らの代表11名が「アフリカの誇り」というコンセプトのもと、ダンスを披露した。音楽はアフリカの東部、西部、南部のものをミックスし、それぞれに異なるスタイルのダンスを披露した。これぞアフリカ！と思わせるリズム感あふれるダンスで独特の雰囲気を出し会場を魅了した。

<参加者からのコメント>

ミタ・ヤスマタハティ・ヘンドロ (インドネシア) / Mita Yasmitahati Hendro (Indonesia)

準備の段階からインターナショナル・フェスティバルは始まっていて、かなり難易度の高いものでしたが、他の国の準備の様子は、インドネシアチームのやる気を鼓舞してくれました。フェスティバル当日は、たくさんの方の来場者に驚きました。来場者の皆さんは各国の料理を試したり、各国の民族衣装を着た学生と写真を撮ったりして楽しそうでした。ステージパフォーマンスは、とても美しく、エネルギーに満ちていて、ステージに近い席で堪能しました。来場者も途中で席を立つことなく見入っていました。このイベントはとても素晴らしい経験になりました。国際大学に来たこと決して後悔しないでしょう。来場者の笑顔と表情を忘れることはないでしょう。みんながイベントの成功に向かって一緒に働き、異なる文化が融合されたのがわかった時が、もう一つの感動した瞬間でした。

進藤 大 さん (日本) / Dai Shindo (Japan)

初めてInternational Festivalに参加して、さすが国際大学だと実感しました。各国のブースでそれぞれの国の代表的な料理が売っていて、このようないろんな国の料理が食べられる大学のイベントは国際大学だけだと思います。ブースが並んでいる場所は各国の料理のいい匂いがして、まるで異国に来たような感じがしました。また特別ステージではたくさんの方の伝統的な踊りが見られてとても興味深かったです。地域の人々や高校生なども来ていたので、色々な方々と交流できるいい機会だと思います。